

報道関係者各位

株式会社コンピュータ・ニュース社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-14本郷ダイヤビル6階

TEL 03-4236-5200 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。

BCN総研 井門 由香 (いもん ゆか)

<http://www.computernews.com/marketview>

PCの主力はノートに 販売構成比率で6割に迫る

コンピュータの週刊専門紙である「BCN」(BUSINESSコンピュータニュース)を発行する株式会社コンピュータ・ニュース社(本社・東京都文京区、社長奥田喜久男)は、東名阪のパソコン大手販売会社13社(エイデン、大塚商会、ランド、グッドウィル、コンプ100満ポルト、コンプマート、CSKエレクトロニクス=T・ZONE、上新電機、スタンバイ、ソフマップ、九十九電機、ビックピーカン、ニノミヤ、ワンダーコーポレーション=50音順)562店舗(2001年4月1日現在)の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、BCNの市場調査部門であるBCN総研ではPCリテール市場の動向分析を行っています。

株式会社コンピュータ・ニュース社(本社・東京都文京区、社長・奥田喜久男)の市場調査部門であるBCN総研の調べによると、PCの販売台数構成比率でノートが57.1%と6割に迫り、市場の主流がノートに移行していることがわかった(図1)。ノートの性能がデスクトップ並みに向上したことに加えて、両タイプの価格差の縮小が、主力の逆転につながった。搭載ドライブ別販売台数構成比率をみても、両タイプの比率はほぼ同じであることから、デスクトップの価格が低下しない限り、今後もノートが主導権を握っていくとみられる(図2,3)。

BCNランキングによると、4月のPCの販売台数構成比率で、ノートが2.5ポイントシェアを上げ、57.1%を記録した。1月には50.8%であったノートのシェアは、月を追うごとに拡大、PC市場の主導権がノートに移りつつある(図1)。

これは、ノートとデスクトップが同じ土俵で争い始めたあらわれともいえる。1台あたりの両タイプの価格差は、約3万8,000円(4月BCNランキング調べ)となっているほか、搭載ドライブ別販売台数構成比率をみても、両タイプの構成比に違いはない(図2、図3)。ショップからは、「デザインや携帯性など特徴のあるモデルは人気が高い」というように、ノートの持つ強みは大きい。デスクトップの価格が下がらない限り、ノート中心の市場構図は今後も続くだろう。

図1 PCの販売台数構成比率推移（月次）

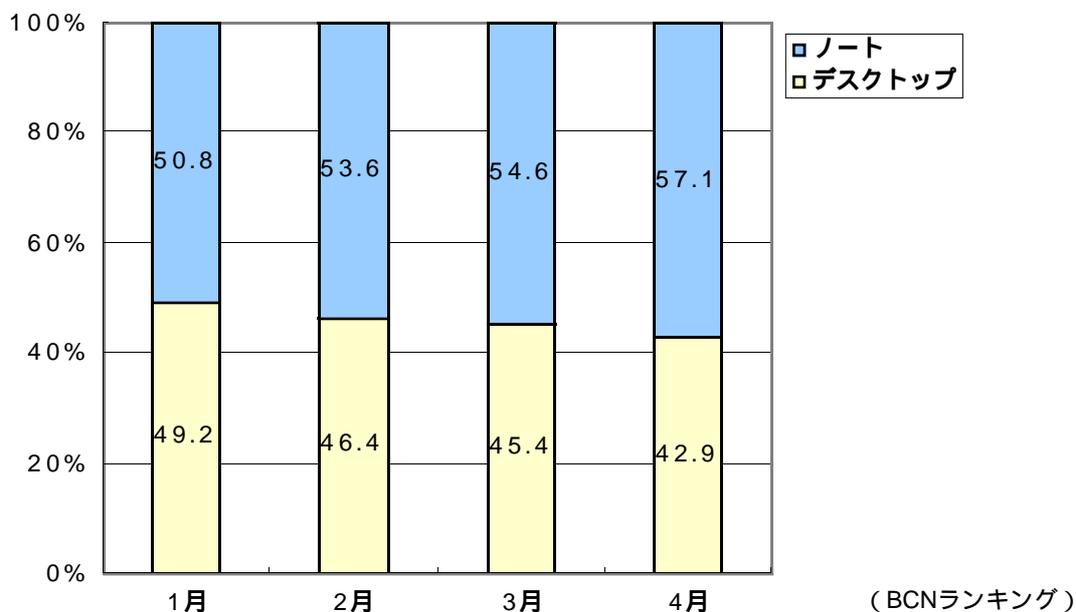


図2 デスクトップの搭載ドライブ別販売台数構成比率（4月）

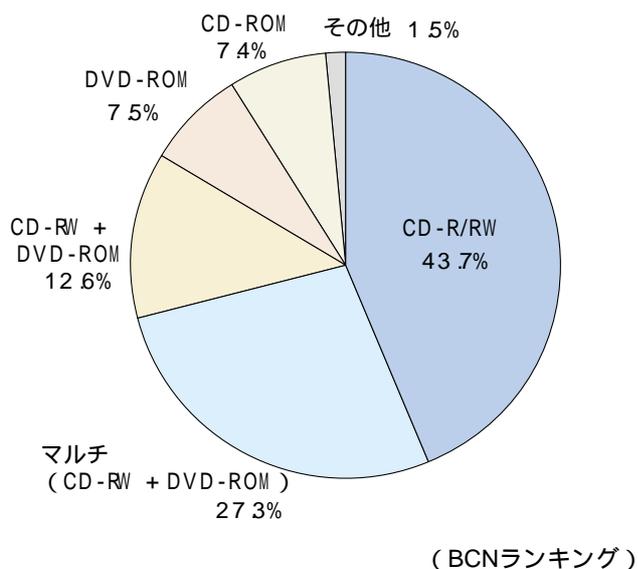
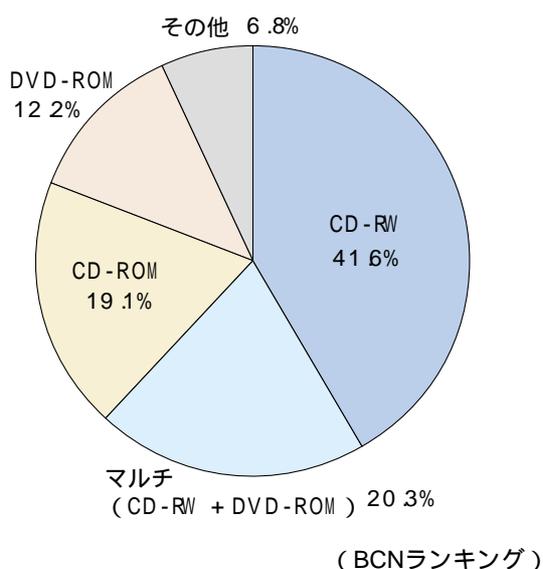


図3 ノートの搭載ドライブ別販売台数構成比率（4月）



* 本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。井門までご連絡下さい (imon@bcn.co.jp)。